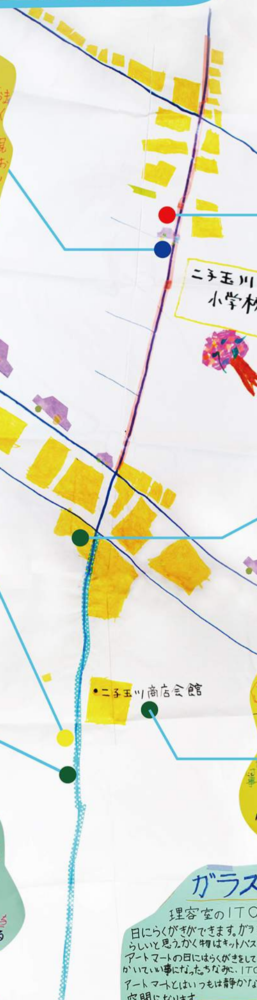
しあさって新聞

商店会チーム
アート&マート取材チーム
しあさってチーム
なかよしになった

第3号

取材先「二子玉川商店街」

50年以上の歴史がある二子玉川商店街。長い歴史があるこの商店街には、昔からある古いお店と新しいお店がいっしょにならんでいます。
そんな二子玉川商店街は年に２回だけ、「青空アート&マート」というイベントを開催しています。いつもは買い物をする場所の商店街がアートでいっぱいになるとくべつな日です。アートとお店がいっしょになって、商店街の景色をいつもとはちがったものに変えていきます。
こどもたちは写真と地図を手がかりにして、「青空アート&マート」のひみつを見つけに二子玉川商店街を記者になって探検しました。歩きながら写真と目の前の景色を見くらべ、気になったことをインタビューしながら、たくさんのひみつをみつけました。
そして探検のあとは、「だれかに伝えたいな」とおもったひみつをかいた記事 と、みつけたアートをあつめた大きな地図をつくりました。さいごはその記事と地図をひとつにして、大きな新聞をつくりました。



うおまさはココがスゴイ

うおまさは今はないけれど一年前の、うおまさがなくなった日はお祭りの日だったという事もありたくさんの人がうおまさがなくなる前にやったダンスを見ていました。ぼくはその写真を見て、うおまさは、町の人、お客さんにあいされて、とてもめぐまれていた店だなあと思いました。

なくなる前
なくなった後

西村記者

商店街になぞのくもの糸？

アートマートの日に商店街の通りのバレエ教室の前になぞのくもの糸があらわれました。この糸の正体は、つりでつかう「てぐす」です。これをたばねたりむすんだりしてボールじょうの物をつるしました。そのくもの糸の前で大道げいのショーが行われました。この糸を結んだのはアートマートのさん加者です。

アートマートは4月と11月におります。

くもの糸

記者小林そら

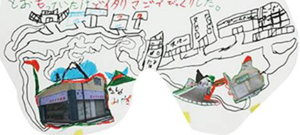
あゆ+ぬいぐるみとは？

アート&マートのワークショップにあるの形をした白いぬいぐるみを200円で色をぬれるワークショップがあります。その色をぬったぬいぐるみはかざられてアート&マートをもり上げます。そのぬいぐるみは、あゆ+ぬいぐるみであゆぐるみというものでした。みなさんもぜひやってみてください。

FUJIKAWA記者

みちになることは（ストラーダ）

子のためにわいいはブラシかってしまって二十五本目とやっきょくにかいてあった。ストラーダわイタリアマごストラーダを日本ごにするとみちといういみになる。ストラーダといういみがさいしょアメリカごだとおもっていたけどイタリアマごでびっくりした。



すみえアーティストの絵

すだとうふ店の前で年2回のアート&マートですみえアーティストが来て、すみで絵をかきます。白黒だけなのにカッコイイし、メリハリがあってリアルで、すいこまれそうな絵です。

細かいところまでかいていてすごいと思いました。

記者
森川 はな

タイトル にぎやかなマンホール

二子玉には、マンホールに絵を書く青空アート&マートというイベントがあります。子どもたちが、ひまわりの絵を黄、青、赤、オレンジ色で書いています。なぜこの事を伝えたい理由はほかの県にもマンホールに絵を書いてさいごに、みんなでお片づけをするシステムを伝えたいからです。事は学びの一つであるから

オリジナルマンホール
<記者>AYAKA

GOGOsetadoll

アート&マートのイベントでデビューした「setadoll」というアイドルがいます。「setadoll」は『セタGO世田谷』という曲などを歌います。「setadoll」という名前は世田谷とアイドルと人形をかけているそうです。setadollはせた谷を元気にするアイドルで世田谷区内の中高学生です。setadollをみかけたらぜひ見てください。

ふじかわ記者

ガラスまどにらくがき

理容室のITOのまどに4月と11月のアートマートの日にらくがきができます。ガラスにかくなんて機会がないからめずらしいと思う。かく物はキットパスという物で、ぬれぞうきんで消える。アートマートの日にはらくがきをしてもおこられません。にぎやかしするために、かいていい事になった。ちなみに、ITOはしょうわ元年からそうぎょうしている。アートマートとはいつもは静かな二子玉川商店街がアートでにぎわう空間になります。

アートマートITOらくがき
ITO

記者小林そら
ITOの店外

編集後記

今回のミテキイテも、商店街の皆さまのご協力のもと、雨模様の商店街を楽しむ子どもたちにより素敵な新聞を発行することができました。
みんなに愛されていたお店があったこと、アートの力で商店街を盛り上げようとしている人たちがいること・・などたくさんのことを発見しました。
記事づくりを通して、商店街のおもしろさと奥深さ、人と人のつながりの大切さを再認識できたのではないでしょうか。
しあさって委員会では、今後も子供たちの取材を通して、街で運ぶ・街で学ぶ・街で伝えるワークショップを展開していきます。
しあさって委員会では今後も「ミテキイテ」の取り組みを通じて、こどもたちが「街で遊ぶ」・「街で学ぶ」・「街で伝える」きっかけづくり進めていく予定です。

クリエイティブ・シティ・コンソーシアム
しあさってプロジェクト事務局 2014.3.30

しあさってプロジェクト公式サイト
http://shiasatte.creative-city.jp/

ミテキイテしあさって新聞第３号記者のみなさん